



2020年4月9日

「MAZDA3」が 2020 年「ワールド・カー・デザイン・オブ・ザ・イヤー」を受賞

ワールド・カー・アワーズ(以下、WCA)が主催する 2020 年「ワールド・カー・オブ・ザ・イヤー」において、マツダ株式会社(以下、マツダ)の「MAZDA3」が特別賞の一つである2020年「ワールド・カー・デザイン・オブ・ザ・イヤー」(以下、WCDOTY)を受賞しました。マツダのモデルが同賞を受賞するのは 2016 年の「MAZDA ROADSTER」以来 4 年ぶり 2 度目となります。

同賞は、2004 年に世界各国の自動車ジャーナリストによって創設された自動車賞で、世界 25 カ国以上、86 名の自動車ジャーナリストの投票によって選ばれます。2020 年の最終結果は、トロント現地時間 4 月 8 日に WCA から発表されました。



MAZDA3

MAZDA3 のデザインは、「Car as Art(アートとしてのクルマ)」というマツダデザインの哲学を追求し、世界で高い評価を受けている「魂動デザイン」をさらに深化させています。日本の美意識に基づく「引き算の美学」でクルマのフォルムから不要な要素を削ぎ落とし、滑らかなボディの面を走る繊細な光の移ろいによって豊かな生命感を表現する、独自の造形を創り出しました。そのうえで、ハッチバックではエモーショナルさを、セダンではエレガンスさを追求し、「MAZDA3」というひとつのネームプレートのもと、まったく異なる 2 つの個性をつくり上げています。

今年創立 100 周年を迎えたマツダは、いつの時代もクルマを通じて、お客さまに人生の輝きを感じていただくことを目指し、「走る歓び」にあふれたクルマをつくり続けてきました。次の 100 年も、クルマを愛し、「走る歓び」を楽しむお客さまに愛着を持って、いつまでも保有したいと思っていただけるような、独自性にあふれた商品・デザイン・技術・顧客体験の創造に挑戦し続けてまいります。

以 上